

取扱説明書

注意文の警告マークについて

この取扱説明書ではご使用上の注意事項を次のように区別しています。

△警告 … 重傷をとともう重大事故の発生を想定してのご注意

△注意 … 傷害や物的損害を想定してのご注意

なお、**△注意**として記載されていても、あるいは特に記述がなくても、状況によっては重大な結果をまねく恐れがあります。正しく安全にご使用ください。

ご使用上の注意

△注意

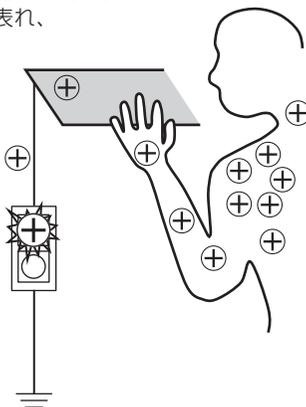
1. アース線は必ず接地してください。接地が無効な場合は静電気の通過がなく、本器も正しく動作しません。
2. ⊕、⊖表示が同時に表れることが稀にあります。
この場合、導電性マット上に設置された、商用電源を使用した機器類から漏電している恐れがあります。静電気の通過の場合は⊕あるいは⊖の表示のどちらかに限定されます。機器類の接地および絶縁状態をご確認ください。
3. 本製品の反応が鈍い場合は、導電性マット裏面から電流が流出している恐れがあります。メッキ仕上げの棚板や塗装のはがれた金属板など導体の棚板の場合、アース線の経路よりも抵抗が低いと、マット裏面から棚板を経由し床などに電流がバイパスされることがあります。この場合は、静電気による電流がアース線を経由しないため、本器の表示が表れません。回路上の取り付け位置の変更や棚板と導電性マットの間に絶縁層を設ける工夫が必要です。

本器の原理

本器は、人の動作で発生する静電気の電圧(1kV以上)で表示するよう設定しています。

静電気対策が正しく機能した作業現場では反応しませんが、対策上のエラー、不整合が発生した折に、人に起因する静電気を検知、表示します。帯電した人や物が導電性マットなどに触れると、接続されたアース線を静電気による電荷が移動します。この電流で本器の表示が表れる仕組みです。

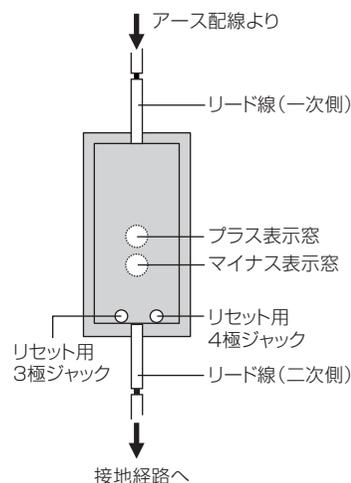
- ⊕の電流が流れた場合は本器表示部に⊕が表れ、
⊖の電流が流れた場合は⊖表示になります。
- 1kV程度の静電気の通過ごとに表示の黒色が徐々に濃くなっていきます。
- 本器表示有無に限らず、本器の内部抵抗は1MΩ未満です。導電性マットとの合成抵抗にはほとんど影響を及ぼしません。



HOZAN F-240 アースラインマーカー

このたびはホーザン F-240 アースラインマーカー をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、お読みになったあとも大切に保管してください。

各部の名称



仕様

外形寸法	53 (W) × 105 (H) × 9 (D) mm
静電気反応電圧	1000V以上
リード線	サイズ 1.25mm ² × 長さ100mm
重量	20g
内部抵抗	1MΩ未満

技術的なお問い合わせ

ホーザン テクニカルホットライン

☎06-6567-3132 E-mail: th@hozan.co.jp

【月曜日から金曜日(祝日を除く)の10:30~12:00・13:00~17:00】

補修部品については、Web上のパーツリストをご覧ください。
通信販売もご利用いただけます。 **ホーザン 通信販売 検索**

ホーザン株式会社

本社

〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-12

TEL(06)6567-3111 FAX(06)6562-0024



T4962772092408



設置方法

設置に必要な部材、工具

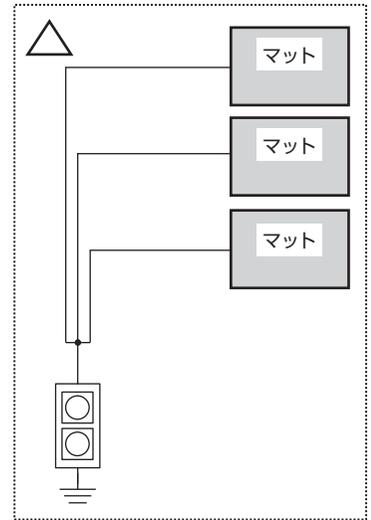
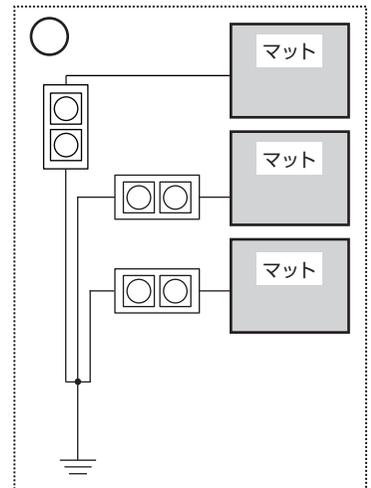
- 銅線用絶縁圧着スリーブ (1.25mm²×2個) または絶縁閉端子などアース線の接続が可能な端子・圧着工具・ワイヤーストリッパー・結束バンド等

リセットに必要な機器

- F-245 リセットキー

- 1 アースラインマーカーの設置場所を決めてください。
作業台や棚に敷かれた導電性マットのアース線に取り付けます。

複数のアース線をまとめたところではなく、敷設したマットそれぞれに配線されたアース線に取り付けると、静電気影響の発生箇所が特定しやすくなります。
- 2 本器の表示を目視点検しやすい高さ、向きに設置してください。また、人の歩行や台車の走行等のじゃまにならない、あるいは誤って破損しないような位置へ設置してください。
- 3 表示のリセットは、本体下部のジャックへ「リセットキー」のプラグを接続して行います。プラグの抜き差しに差し支えない位置・向きに設置してください。
- 4 取り付け位置が決まれば、配線作業に入ります。
すでにアース線が配線されている場合は、任意の位置に割り込ませる形で取り付けます。
取り付け位置のアース線をカットし、接続端子を使用する際には、(端子側に) 規定されている長さで絶縁被覆をストリップします。
- 5 任意の方法で、アース線に本器付属のリード線を接続します。
このとき、導体が露出する場合は、絶縁テープなどで必ず絶縁処理してください。
- 6 本器の設置は縦方向、横方向を問いませんが、縦方向の際にはホコリの侵入を防ぐために、リセット用のジャックが下に来るように取り付けてください。



ご使用方法

- 1 設置完了後、本器をリセットします。
F-245 リセットキーのプラグを本器ジャックへ接続します。
ジャック側を下にして、向かって右側が太い4極プラグ、左側が細い3極プラグです。奥までしっかりと差し込んでください。
- 2 F-245のリセットボタンを数回押してください。
本器ディスプレイ面に表れていた⊕あるいは⊖表示が消去されます。
- 3 F-245 を取り外し、準備完了です。
- 4 本器を設置した現場で静電気が発生があった場合、アース線から本器を経由し接地へ電気が流れます。このとき、その電流に反応して本器前面の表示窓に極性を示すマークが出ます。(表面「本器の原理」参照)
- 5 表示窓のマークが表示されると、1年以上維持します。
逆極性の電流が流れた場合は、最後に流れた極性を示し、それを維持します。
⊕、⊖表示が同時に表れることが稀にあります(本紙表面、**△注意**の2.参照)。
- 6 アースラインマーカーの設置後は、定期的に表示の有無を確認してください。
表示が確認された場合は、設置場所、日付、極性を記録しておきます。
後日静電気によるエラーが確認されたときに、この記録により発生箇所を特定できます。

